

西条中学校研究通信

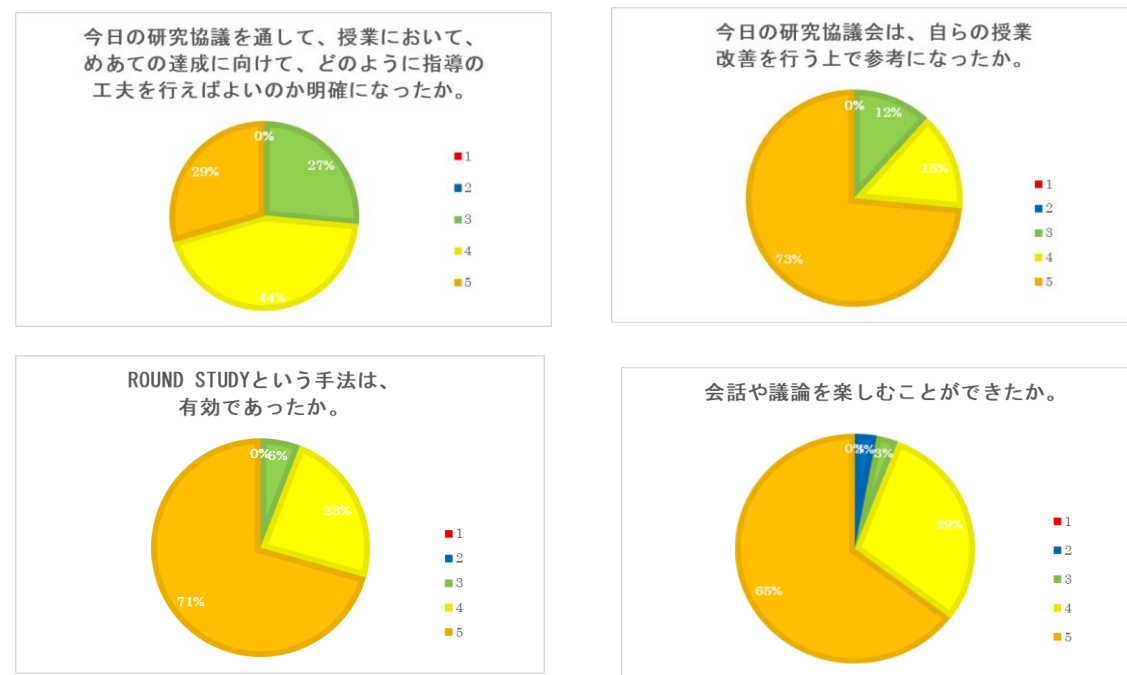
第5号
研究部

夏休みも残り今日1日、明日からは子どもたちが登校してきます。先生方、休み中には英気を養うことはできましたか？夏休みが明けると前期期末試験、職場体験学習、文化祭の取り組み...と、またまた忙しい日常が戻ってきます。そんな中、公開研究会についての取り組みも進めていかねばなりません。明日から、また、チーム西中で一致団結して元気に乗り切っていきましょう。

前回のラウンドスタディ振り返り

★パフォーマンス評価編

6月18日の全体研修で、小野主幹の授業を参観ののち、ラウンドスタディ方式で協議会を行いました。その後のアンケートの結果です。



Round Study 方式を5段階で評価してもらった結果、90%以上の先生方が、この方式による議論を楽しみ、有効性を感じられたことが分かりました。一方で、「授業において、めあての達成に向けて、どのように指導の工夫を行えばよいのか」、今日の研究協議を通して明確になったか。については、肯定的な回答が74%にとどまりました。研究協議においては、「研究の仮説で示した手だて（「選択」と「共有」の場面を取り入れた授業づくり）が、授業のめあてを達成するため

に有効だったかの検証」を行うことが最も大切なこととなります。公開研究会での協議会を、より有意義なものにするためには、各グループのホストが、授業者の意図を理解し、グループの話し合いをうまくファシリテートする必要があります。

そこで本日の練習会では、次の2点を意識してください。

- ① Round Study 方式による協議会のやり方に慣れる。
- ② 午後の授業者の指導案について理解を深める。

【練習会の流れ】

- Round 0 : Round Study の留意点
- Round 1 : 授業者の自評プレゼン（各ブロックの中で）
- Round 2 : 質疑・応答（他ブロックの先生方と）
- Round 3 : 元のブロックに戻って再協議
- Round 4 : 各ブロックでの協議内容共有
- Round 5 : 振り返り

★自由記述編

自由記述での振り返りでは、大きく3つの内容の振り返りが多くみられました。

1. 「選択」と「共有」について、理解が深まった！

「選択」→「共有」だけでなく、「共有」→「選択」→「共有」や、「選択」⇔「共有」など、いろいろな在り方を考えてみようと思いました。今一度、「教科の特性を活かして」の所を考え直したいと思います。

「選択」と「共有」をただ盛り込むのではなく、それらの活動を通して生徒にどんな力をつけさせたいのかをしっかりと考えて、指導案も作りたいなと思いました。

小野先生、研究授業ありがとうございました。今回の授業を通して「選択」と「共有」のイメージが具体的に分かってきました。Round Study が授業の手法にもつながると感じました。

「選択」「共有」の仕組みについて示唆を頂きました。課題解決の見通しを生徒に持たせることや、活動が学力に帰着することなど大切な授業づくりのポイントを活かして授業を考えていきたいです。中でも課題解決のプロセスを重視して、授業づくりについて学ばせていただきましたので、この点も実践できるようにしていきたいです。ご多用の中、素敵な授業を参観させていただきありがとうございました。

目的の必要性、選択と共有をどう関わらせるかを具体的に教えるイメージができた。研究授業で行おうとする題材に、どうつなげるかをしっかり吟味していきたい。

「選択」と「共有」を理解しているつもりだったが、定義をしっかり考えて、やるべきことを明確にしようと思った。自分の考えは少数派だと思ったが、同じように考える人がいるとわかってよかった。
「選択」と「共有」も、有意義で、かつ教科の特色に合わせた形に変更しないといけないと学んだ。

2. 他教科の先生と話しあえて、視点が広がった！

Round Study で、短時間で様々な意見を知ることができた。教科によって、いろいろ考え方が違うなと実感することもできた。まだ話し足りないな、これも言いたかったな、意見を聞きたいなと自分の中で深まる時間にもなった。澤井先生が言われたように、この研修の過程や成果を当日発表すればいいのではと思いました。
研究協議は難しくて苦手なのですが、Round Study を経験する中で、すごく発言しやすくなりました。「自分ならこうするかな」と提案を考えたり、他教科の先生と話したりすることで、手立てを考える幅が広がっているので、すごく面白いです。
他教科の先生方と様々な視点で意見交換ができて良かったです。
他教科の先生の視点・考え方を知ることができたので良かった。
Round Study について、他教科のご意見を聞いて、自己内や教材との「対話」もあるなと気づかされた。前時での指導もしっかりされていたことへも理解が深まった。講話では、特に振り返りで視点（マーク）を選択させる（指定する）ことが有効であると学んだ。見通しを立て、学習調整につなげるためにうまく使いたい。
各教科の特性のためか、英語科では全く出なかった意見が他教科では話題になっているなど、多角的な視点で協議ができて参考になりました。ありがとうございました。
Round Study では、自分の教科との違いが分かって、生かせそうな方法をいろいろと教えていただき有意義でした。「選択」と「共有」を効果的に仕組むためにどうしようか、考えなければと思いました。小野先生、お疲れさまでした。

3. 活発な意見交流ができて、たくさんのアイデアを得られた！

Round Study を通して各教科で「共有」「パフォーマンス課題」「対話」の考え方の違いを感じることができた。
ホストとして参加することで、他の先生方に説明する機会が増え、自分の理解につながりました。話しながら書くのが最初慣れませんでした。が、他の先生方の意見や他のグループの意見など、いろんな意見に触れることができ、勉強になりました。
4 時間目に授業があったため、授業をじっくり見ることはできませんでしたが、研究協議会でいろんな先生のお話を聞くことができて良かった。

Round Study は大変参考になった。各生徒が、どの活動の段階にいるのかをネームプレートで貼る工夫や振り返りにマークを使うのもよいと思った。
課題の練り方と、子どもにじっくり考えさせる時間のとり方など、教員が「ここを頑張ってほしい」という部分が明確で、その分協議がとても盛り上がりました。Round Study は、授業でも使ってみたいと思いました。
Round Study を通して、より多くの意見を聞くことができ、自分の考えが深まりました。
Round Study でとても活発に話し合いができました。また、主体性を評価するという面で、評価するということが目が行き過ぎて、主体性を「育てる」という視点を持てていなかったことに気づけました。
絶対に話さなければならないというプレッシャーがあり、個人的には会話を楽しむことは難しかったです。全体を見てみると議論が活発でしたので良かったと思います。
Round Study は意見が活発になってよかった。自由進度学習は興味があった。事前準備で大事なことなどを少し知ることができて良かった。
Round Study を通して、「自分だったらどうするか」「自分が次、自分の教科で指導するならどうするか」と考えることができたが、まだ明確にはつかむことはできていないので、指導案作成の過程で検討したい。また今回、抽出生徒を見取ったが、その子の情報を共有する場面が Round Study だけだとレベル（習熟度）による違いが見られないため、その時間も欲しいなと感じた。
視点を持って授業を観察し、見取ったことや感じたことを忌憚なく話し合うことができて良かった。また、受容的に聞くことを意識して参加することで、柔軟な気持ちで新しい視点を取り入れ、授業改善について発想を広げることにもつながった。
本日の授業では、最初、4F の教室指導のため、全授業内容が見れなかったのが残念でした。後半の授業の本時の学習の流れの中での交流の場面での協議がしっかりされて教科の特性、また、美術科での共有をどう考えていけばよいか、とても参考になりました。Round Study に関しては、まさに先生同士でいろいろな学びの共有ができ、大変有意義な会になったと思います。
話しやすい雰囲気、回を重ねるごとに増している。他教科の視点など、自分にはないものが共有できて、とても勉強になる。グループの考えを1→3にかけて深められる流れがとても良い。
振り返りの書き方など参考になることが多かったです。ありがとうございました。
Round Study は話し合いが活発になり、一人一人の役割があるので、実りのある話し合いになると思います。今後の研修でも、ぜひ活用するのが良いと思います。澤井先生のお話を聞いたことで、自分の授業に見通しを持つことができました。特に、課題解決をさせるために、課題設定に時間をかけて作っていきたいと思いました。少し、先が見えてきました！
気持ちを楽にして、より多くの意見を交流させることができて、面白いし、やりやすい手法だと思います。

